刊行のことば

わたくしどもベネッセ教育研究所は、1980年に設立されて以来、子どもや教師の意識・実態調査、教材研究、教育動向分析等を行ってまいりました。この間の調査研究成果の一部は、小・中・高校生を対象とした調査報告書「モノグラフ」、中学校教師を対象とした教育情報紙「進研ニュース(中学版)」等の発刊物や、講演会・シンポジウムなどを通して教育関係者の方々に情報提供の形でお届けしております。

さて、今回発刊いたしました「学校外学習に関するふりかえり調査報告書」は、1998年9月上旬に関東近県に居住する大学生に対して、小・中学校時代にしていた学校外学習についてたずね、その結果を分析したものです。

第1章～3章では、学校外学習の実態【種目名や、月謝、交通手段、始めた(やめた)時期や理由など】を明らかにしています。その結果、ほとんどの人が学校外学習を経験していることがわかりました。また、第4章では、大学生になった今になって、有意義だと思うものなど、時間の経過による客観的な評価や効果についてまとめています。学校外学習での良い経験が、現在の生活にいい影響を与えていることなど大変興味深い結果が出ています。ぜひ、ご一読いただき、今後の学校外学習を考える上での参考としていただければ幸いです。

なお、本調査の設計、分析にあたり聖心女子大学助教授の樋田大二郎先生に多大なるお力添えをいただきました。誠にありがとうございました。また、調査にご協力いただいた大学生の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

1999年6月

ベネッセ教育研究所
代表　島内行夫

目次

●序章　調査の特徴……2
調査概要……3
TOPIC……4
基本的属性……15

第1章　一般的な習い事について
1．通っていた・最もよかった一般的な習い事……18
2．月謝・交通手段・移動にかかる時間……22
3．始めた（やめた）時期・理由……24
4．継続期間・続けているときの気持ち……32

第2章　学習系習い事について
1．通っていた・最もよかった学習系習い事……36
2．月謝・交通手段・移動にかかる時間……38
3．始めた（やめた）時期・理由……41
4．継続期間・続けているときの気持ち……49

第3章　体験学習について
1．参加した・最もよかった体験学習……52
2．参加費・開催頻度・参加者・宿泊の有無……56
3．始めた（やめた）時期・理由……58
4．継続期間・参加しているときの気持ち……66

第4章　ふりかえってみて感じること
1．最も有意義な学校外学習……70
2．最も嫌だった学校外学習……75
3．やっておけばよかった学校外学習……80
4．いい思い出について……84
5．今の生活との関連……87

あとがき……90

●資料編　調査票見本……94
基礎集計表……104

※第1章～第4章の右側ページに付したインデックスの「Q」番号は、94ページからの「調査票見本」の該当設問番号です。